



お店に置いてもらっているパンフレットと募金箱、返礼の缶バッジ

5に及ぶ少数民族が住んでいますが、そうした山岳地帯の少数民族の人々は田畑も焼かれて全く悲惨な状況に置かれています。

日本には3万5千人のミャンマー人がいると言われていいます。埼玉パンフレットキャンペーン(SPPC)という活動をしている埼玉在住のミャンマーの若者グループが、「ミャンマーで今、何が起きているのか?」を知って欲しいと毎週末に大宮、浦和、川口、川越などの駅前でチラシ配りと募金活動をしています。集まった募金は途中で国軍に没収されてしまうことがあるため、彼らの持つ様々なチャンネルを通じリスク分散して送金しているそうです。

そうしたミャンマーの若者たちの活動を応援しているのが行田市の田所さんです。田所さんは2012年にスタディーツアーでミャンマーの養育施設を訪れたのがきっかけで、

施設を卒業した子ども達自立するための職業訓練ができるパン工房を作れないかと思いましたが、パン作りの勉強をしながらも、日本から設備も持ち込んで2020年6月にやっとパン工房をオープンしようとしました時、コロナ禍に襲われまして。一旦帰国してコロナが収まるのを待っていたところに、今回のクーデターが起こり計画を中断しなくてはなりませんでした。

田所さんは仲間と「ミャンマーの人々に寄り添う会」を作り活動を始めました。日本人にミャンマーのことを身近に知ってもらえるようにと、SPPCの若者の活動を手伝う形でチラシや募金箱を知り合いの喫茶店、レストラン、パン屋さん、クリニックなど、既に15箇所においてもらっていて、更に広めようと活動しています。

パンフレットや募金箱を置いて貰えるお店などがありましたら是非ご紹介ください。募金箱は熊谷市市民活動支援センター、みんなの家などに置いてあります。皆様からの温かいご寄付を宜しくお願いいたします。

連絡先:ミャンマーの人々に寄り添う会 090-1609-5160

ミャンマー危機
本村 彰
「ミャンマー危機」の著者である本村彰氏が、ミャンマーの最新事情がわかる本「ミャンマー危機」の選定を迫られる日本

Information

- 熊谷空襲に関して、NHK や文化放送から取材を受けました。文化放送では、「大竹まことゴールデンラジオ」の中のゴールデンヒストリーが8月第一・二週で「この国の戦争」を持集。8月2日高城三郎さん、10日沖松信夫さんが取り上げられました。
- 8月12日 12:00 から 12:50 FMクマガヤに当会の米田、小川、大久保が出演。87.6MHz
- この秋、熊谷空襲の戦跡巡りを企画しています。参加する大学生・高校生・中学生を募集します。“私たちの街の歴史を知ろう!”

コラム

パンデミック下でオリンピックを強行したことにより、オリンピックの本質がスポーツの祭典ではなく、スポーツを出した利権の祭典だったことが明らかになった。IOCとNBC、日本政府、JOCと組織委員会、彼らはオリンピックが生み出す膨大な利権を我が物にすべく共謀している。今の時季に無理やり開催するのは、アメリカンフットボールと競合させないためだとか。きれいなことを並べてもアスリートやコロナ禍で苦しむ国民は二の次のものだ。利権をむさぼる者たちは、バブルでパラレルワールドと嘯く。団十郎襲名祝いで海老蔵が登場したとか、ダイバシティーにほど遠いがゆえに、大阪なおみ、八村塁、ミッシェル・奥巴马、大坂なおみ、八村塁、ミッシェルなどうわべだけ糊塗する継ぎはぎの開会式は、今回のオリンピックやニッポンの現状をよく表している。8月6日の感染者数は、東京が515人、神奈川2082人、埼玉1220人、千葉1057人、全国合計15,645人。政府は、入院制限を言い始めた。もはや医療崩壊でしょう。命を守れない人たちにこの国を委ねるのは「J」限界です。(Ado 風)。

～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしくお願い致します。
なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行

口座記号・記号: 00100-7-265321
加入者名: 熊谷空襲を忘れない市民の会
口座名称カナ: クマガヤクウシュウワフスレナイ シミンノカイ

他行からの振り込みの場合は

店名(店番): 〇一九店 (019)
預金種目: 当座
口座番号: 0265321

会計報告 (2021/4/18~2021/7/28)

収入: 24,150 円
支出: 11,130 円
残高: 135,781 円

編集委員 吉田庄一、小川美穂子、米田主美
連絡先 吉田庄一 (090-4957-9181)
メール imajn241@gmail.com
HP http://www.peace-kumagaya.org/

2021年夏のイベント

当会が毎年8月に開催している戦争の歴史を若い世代に継承していく企画「戦争を知らない人たちに伝えたい」シリーズ、今夏は「被爆者 服部道子さんのお話とトーク」です。

～戦争を知らない人たちに伝えたい～
「ヒガダンの本当の話」
被爆者 服部道子さんのお話
みんなでトーク

■日 2021年 8月22日(日)
■時 14:00～16:00 (開演 13:30)
■場 熊谷市緑化センター2F
熊谷市西町 2-37-1 (中央公園の西)
※お車の方は市街地の駐車場をご利用ください。
■主 熊谷空襲を忘れない市民の会
■連絡先 東(むがし) 070-5551-7734
メール higa@higa2.com
■参加費 300円(学生・障がい者無料)
■予 約 コロナ禍につき定員30名に制限させていただきます。申し込みは、電話またはメールにて東までお願いします。

服部道子さんのご紹介
1949(昭和24年) 東京生まれ14歳
1949年 父の転勤で熊本へ
1949年8月 空襲に遭って母を失
1949年8月 熊谷市立女子学校
高等科へ入学
1949年8月 8月15日 15分空襲
「ふるさと」(埼玉県熊谷市教育委員会)の編集委員として、戦争、平和、歴史、文化、教育、環境、防災、SDG、上野の森を巡り、熊谷、小川、中津、高尾、大宮、一宮の人々と共に戦争を伝えたい。

2014年「スゴい!」連載一冊の執筆に当選者の一人として、2015年 12月 14日 熊谷市立女子学校で講演。
2015年7月 「ふるさと」の編集委員として、熊谷、小川、中津、高尾、大宮、一宮の人々と共に戦争を伝えたい。
2017年 12月 14日 熊谷市立女子学校で講演。

※戦争を知らない人たちに伝えたいは、毎年、毎年8月に開催している企画です。今年も開催いたします。詳しくは、HPをご覧ください。

「最後の空襲 熊谷」 重版出来!



昨年 11 月に発行した「最後の空襲 熊谷 ～8月 14・15 日戦禍の記憶と継承～」は、新聞や雑誌などの多くのメディアに取り上げられ、大きな反響を呼びました。そして2021年7月、重版が完成しました。より多くの方たち、特に若い人たちに広めたいと思います。発行 社会評論社 1,980 円